

令和3年度

# (前期) 学校評価の集計結果から

7月に実施しました  
前期の学校評価アンケート。  
学校運営協議会で意見をいただくことは  
まだできていませんが、  
集計結果から分かること等紹介いたします。

また、2学期の教育活動のできることから  
結果を踏まえた見直しや改善等、  
進めていきたいと思えます。(R3.9.7)

※ 集計結果の全容については、  
別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

## 【学校に関わること】

- ・今年度から始まっている阿武町小中3校で共通理解して指導を行っていかうということに関して、まだ周知ができていない。
- ・阿武町で共通理解すること  
めざす姿・・・①ふるさとを愛する人②自分の言葉で伝える人③つながりを大切にする人④たくましく育つ人  
育てたい心と力・・・①きづく②きめる③かかわる④やりぬく

- ・重点取組事項である「積極性」と「表現力」について、成長を感じることの出来る場面が増えてきている。
- ・子ども自身はまだ頑張りが足りないと自分に厳しく思っている傾向にある。
- ・あいさつはもう少し元気があってよい。またいつでも誰にでもあいさつができるようになってほしい。
- ・タブレット1人1台配付に伴い、その利用について話し合いの場を設ける要望あり

## 【家庭に関わること】

- ・早寝・早起きの習慣が身につけていないことが昨年に引き続き気になる
- ・道で会った人へのあいさつは、保育園の時より積極的である。

- ・家庭でも外遊びを奨励するとよい
- ・手伝いを進んでする様子はまだ少ない。
- ・家では、自分が考え自分が行動するという様子はまだ見られていない。
- ・家で読書する習慣は身につけてない。

## 【地域に関わること】

- ・子ども達が積極的に頑張っている様子が地域の方の目にとまるようになってきている。
- ・オンラインの機能などを用いて、学校外の人との交流の場をもつとよいという意見がだされている。

- ・重点取組事項に対して学校が取り組んでいることを感じてもらえている。
- ・コロナ禍にあり、行事に地域の人が参加できない状況が続いており、子どもの様子を見ることのできる場がごく限られてしまっている。何かできないか考えるとよい。

10月8日の学級運営協議会にて  
前期の学校評価アンケート結果を踏まえた  
話し合いを行いました。(R3.10.19)

※ 集計結果の全容については、  
既に9月7日学校だよりにて配付済み

### 【話し合いの中で出された意見】

- ・少人数という利点を生かして、子ども達のためにできることをどんどんやっていくとよい。
- ・福賀小学校ならではの機動力が、よく生かされていると思う。
- ・何をやるにしても初めからムリだと思わないことが大切。
- ・ゲストティーチャーとして子供に関わったが、子供にとって分かりやすい言葉で説明できなかったことが悔しい。

- ・児童と地域の大人の接点が増えただけでなく、児童が地域の方と関わる場面が良く設定されていると思う。
- ・何かを伝えるとき、以前より具体的に話すことができるようになってきた。重点取組事項に力をいれてきた成果だと思う。
- ・公民館活動を、児童と一緒に学校を舞台に行う企画があってもよい。
- ・取り組んだ結果として子供たちに成長や変化が見られるので、年度末に現時点の児童の課題について意見を交わす機会をもつとよい。

### 【タブレットに関する協議内容】

アンケートの自由記述欄に、「委員会・学校・保護者・学校運営協議会委員等と一緒に、児童生徒の個人用タブレットの使い方について話し合いの場をもつべきだ」という意見が記載されていたので、第2回学校運営協議会にて、協議の場をもち、意見交換を行いました。

- ・タブレットやスマホを低年齢のうちに持たせることに違和感もあるが、全国的な流れとして止めることはできないので、情報モラルなどを教える機会としてとらえるとよい。

- ・タブレットを持ち帰った子供たちは、学校で教えてもらった使い方のきまりを一生懸命守ろうとしている。低学年から扱い方を学ぶことは良いことである。
- ・学校と家庭において使い方等について共通理解ができています。登下校中など学校・家庭以外の様子が把握できないので、地域にもどんなことが良くて何をしたらいけないと指導しているのか情報共有すべきである。→ 次回学校だより
- ・大人のほうが、タブレットやスマホについて知らないことが多いので勉強会を開くとよい。学校で児童と一緒にするのもよい。→ 検討

